

各グループの主なご意見

A グループ

ゆっくり休める休憩スペース

- ・お金をかけずに過ごすことができる場所
- ・静かに過ごすことができる場所
- ・軽く体が動かせるところ

「食」を通じて集客出来る施設

- ・アイスクリームや焼き物
- ・焼肉 × ステーキで「おばステキ」としても面白いかな？

特産物を活かした物販

- ・地元の特産物を安く購入したい
- ・棚田米、地ワイン、地ビール、地酒等

防災機能について

- ・地域防災拠点には備蓄倉庫は必須

子どもが遊べる空間が欲しい

- ・雨の日でも遊ぶことができる場所
- ・ボール等のレンタル
- ・散歩コース
- ・芝生の上にふわふわドーム
- ・親も休憩することができる場所

ツアーや食べ放題がしたい！

- ・イチゴやミカンの食べ放題
- ・棚田と連携したツアー

多種多様な観光機能

- ・ドッグラン
- ・RV パーク
- ・劇場
- ・プール
- ・温泉、足湯
- ・観光案内所

その他

- ・貸会議室
- ・他の道の駅との差別化として観覧車やデラックストイレの設置

B グループ

コンセプト

- ・目的地化した道の駅
- ・娯楽と棚田をテーマとした道の駅
- ・一日中過ごせる道の駅
- ・周辺観光地と連携した道の駅

特産物を活かした物販

- ・地元の特産物が購入出来る場所
- ・棚田米を使ったおにぎり
- ・目玉商品を作る必要がある
- ・有名店（企業）× 地元特産品
- ・地元の飲食店を PR 出来る場

農業振興等の発信地

- ・農産物の販売所
- ・花の売り場の拠点

防災機能は強化すべき

- ・ヘリポート
- ・炊き出し機能として使用できるレンタルキッチン

特徴のある遊戯施設

- ・屋内で遊べる場所（屋外であれば屋根は必須！）
- ・木育広場があれば良い
- ・おむつ替えスペース、授乳室、ミルク用のお湯等
- ・300 円程度なら有料でも◎

周囲の観光地も巻き込んだ活用

- ・サイクリングステーション整備
- ・シェアサイクルを使用し、棚田等の観光地ツアー
- ・シャトルバスを通して、地元企業を巻き込んだイベント実施

その他

- ・RV パーク
- ・ライブ会場
- ・温泉、足湯
- ・歴史的魅力的な発信機能
- ・企業と連携した情報発信機能
- ・他の道の駅との差別化出来る機能

C グループ

コンセプト

- ・テーマ性が必要
- ・目的型の道の駅
- ・買い物、飲食、遊びを集結させてほしい
- ・面として施設誘致できるように

フードコートが欲しい

- ・子ども連れて飲食できる場

農業振興等の発信地

- ・道の駅でしか購入できない物や地域振興に貢献する商品の開発
- ・長野県内の特産物も販売しては？
- ・海鮮も需要がある
- ・品揃えを豊富にし、道の駅だけで買い物を完結させたい

防災機能は必須！

- ・防災をテーマにしたイベント実施
- ・防災テーマパークのような場所としてはどうか
- ・多種のコンテナを設置して有効活用できたらいいのではないかな

子どもを対象とした機能

- ・近隣に公園がないため必要
- ・親同士で相談できる場所が欲しい
- ・屋内遊具があれば嬉しい
- ・クッション性のある床や壁があるだけでもいい
- ・コンセプトをもった遊戯施設となると面白い

オリジナリティのある機能

- ・RV パーク、BBQ 機能
- ・温泉、足湯
- ・市営スポーツジムの併設
- ・人を呼び込むための機能やイベントの実施
- ・ガイド付きの観光案内

アクセス性の配慮

- ・国道と市道の両方からアクセスできるようにした方がよいのでは
- ・タクシーの待機場所がほしい

その他

- ・駐車台数は 100 台だと少ない
- ・1.5ha は狭いのではないかな
- ・観光客誘致のために観光動線の検討が必要

道の駅整備に向けたグループワーキング

かわらばん

令和 7 年

地域防災拠点と道の駅の整備に向けたグループワーキングを開催しました！

令和 7 年 7 月 30 日（水）、千曲市役所が新しく計画している地域防災拠点・道の駅について、グループワーキングを開催しました。

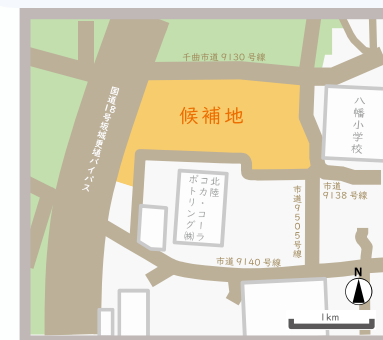
地域住民を含む推進協議会メンバーと市の職員にご参加をいただき、3つのグループに分かれて意見交換を行いました。意見交換の内容は、「どんな道の駅があったらいいか」や「道の駅に求める機能」などをテーマに実施し、様々なアイデアや理想とする道の駅、理想を実現するための工夫等について意見を出していただきました。

グループワーキング

【開催日時】
令和 7 年 7 月 30 日（水）
15 時～17 時

【開催場所】
千曲市役所

【参加者】
19 名



【候補地】長野県千曲市八幡



共通のキーワードや方向性について

■子どもが遊べる空間を設けてほしい

■防災機能は必須で、普段も活用できれば

■千曲市内を周遊してもらうための工夫が必要

■特産品を活用した商品開発が必要

■観光機能に独自性を持たせてほしい



お問い合わせ



千曲市役所 企画政策部公民共創推進室 長野県千曲市杭瀬下二丁目1番地
電話：026-273-1111 メール：kaisui@city.chikuma.lg.jp

みんなで描いた道の駅！！

皆さんのご意見をもとに描いた道の駅！
今後ともご意見をいただきながら道の駅実現を目指していきます。

【アクセス・駐車環境】

- ・国道18号坂城更埴バイパスや千市道へのアクセスを配慮。
タクシー待機場やシェアサイクルなど、移動手段の選択肢を充実。
- ・十分な駐車場スペースを備え、観光客の利便性を向上。
大規模イベント開催時の交通整理案も備え付け。

【休憩スペース】

- ・運転途中の休憩や過ごしやすい静かなスペースを提供。ペット連れや子ども連れでも快適に利用可能なエリアを設置。
- ・軽く身体を動かせる散歩コースや芝生の休憩エリアでリラックスできる時間を提供。

【観光案内・拠点】

- ・観光客向けの情報を発信する観光案内所や、歴史的魅力に関連するガイダンス機能付きの展示を設置。
- ・RVパークや足湯、温泉などの施設を誘致し、「目的地になる道の駅」を目指し集客性を向上。

【イベント機能】

- ・定期的なライブや催し物（音楽・舞台・お笑いなど）を開催するスペースを併設。地元企業とのコラボイベントも企画可能。
- ・防災をテーマとしたイベントや季節ごとの観光イベントを展開し、継続的な地域活性化を実現。

【集客・デザイン】

- ・統一されたテーマ・コンセプトを持つ施設デザインにより地域の魅力を発信。
例：棚田・姨捨・千曲川などの景観を活かした設計。

- ・奇抜で印象的なネーミングや施設デザインを導入して、県外観光客も訪れる注目度の高いスポットを目指す。

【物販エリア】

- ・地元千曲市の特産品や棚田米を使った商品を中心に、地酒やビール、ワインなどの長野県全体の特産品を幅広く提供。

- ・「この道の駅でしか買えないもの」をテーマとした販売エリアで、観光客の興味を引くコーナー展開。

【飲食エリア】

- ・地元産の食材を活用したフードコートを設置。
メニュー例：「棚田米のおむすび」「おばステーク」「おやき」「あんずソフト」など。

- ・テイクアウト対応のスイーツや軽食も充実させ、観光客や子育て世代が気軽に利用できる施設に。

【子ども向け遊び場】

- ・屋内外の子どもの遊び場を設置し、全天候型の遊び場を完備。赤ちゃん用エリアや幼児以上のエリアを区分けして安全性に配慮。

- ・親が休憩しながら子どもを見守れるスペースやボール
- ・遊具のレンタルも用意。

【防災エリア】

- ・必須項目として、備蓄倉庫や多目的スペース（レンタルキッチン付き）の設置を検討。災害時の炊き出しや物資配布機能を強化。

- ・ドローンやヘリポートなど、最新技術を取り入れた防災拠点として活用できる設備も追加。

